

平成13年3月23日

各位

株式会社あさひ銀行(コード8322)
東京都千代田区大手町一丁目1番2号

構造改革 (リストラクチャリング)の推進について

当行は、昨年9月に5年後を展望した経営ビジョン「リテール新世紀」を策定し、本格的な構造改革 (リストラクチャリング)に全行員の総力を挙げて取り組んでまいりましたが、経営環境の変化および13年3月期の業績予想修正を踏まえ、これを前倒して実施するとともに、当行の特色であるリテール特化を更に徹底し、加えて、リテール業務に対するコスト構造を改革することにより、収益性の向上を図ってまいります。

1. 経営姿勢の明確化

構造改革を実施していくにあたり、役員の取り組み姿勢を明確にするため、役員数を2割程度削減するとともに、役員報酬についても大幅な削減を実施いたします。

2. 資産・負債構造の改革 (リテール特化路線の徹底)

当行のコアビジネスであるリテールバンキングに徹底して経営資源・資産を集中させ、中堅・中小企業、個人のお客様から圧倒的に支持される、これまでにない新しい金融サービス業を目指してまいります。

(1) 投資株式の更なる圧縮

リテールバンキング以外の業務については、これまでも縮小を行ってまいりましたが、これを一層徹底することとし、投資株式につきましては、現行 (12年9月末残高2兆円) の1/3程度の残高を目指して、更なる圧縮を実施してまいります。

(2) 国際業務の抜本的見直し

海外拠点は、経営健全化計画において14年度までに7拠点程度まで削減することとしておりますが、リテールバンキングへの徹底した経営資源集中の観点から、これを抜本的に見直しいたします。

(3)大企業取引の見直し

大企業取引につきましては、個別の取引方針を見直したうえで、主力・準主力先を中心とした取引に絞り込み、国内貸出金に占める大企業向け貸出金の比率を10%程度に引き下げてまいります。

(4)リテール業務への経営資源・資産の更なる傾斜配分

投資株式、海外資産等を更に圧縮し、リテール業務に再配分することにより、中堅・中小企業、個人向け貸出金の比率を90%程度まで高め、収益性が高く、且つ安全性の高い資産ポートフォリオの構築を進めてまいります。

3. コスト構造の改革

(1)人員効率化(担い手の変革)

経営健全化計画における14年度目標である実働人員9,500名は、12年度末に2年前倒しで達成し、更に17年度末までに2,000人程度を追加削減いたします。

一方、担い手を変革することにより、ヒューマンタッチのサービスレベルを維持・向上いたします。

(2)店舗(チャネル革新)

国内本支店については、経営健全化計画の14年度目標である328カ店(25カ店)を2年前倒しで達成し、加えて更なる効率化により、目標比10拠点の削減を実施済みです。

今後、更に店舗の効率化を進め、15%程度を追加削減いたします。

(3)関連会社の効率化

関連会社の効率化につきましても、銀行同様、徹底して進めてまいります。関連会社の役員人事を抜本的に見直すとともに、従業員の削減、物件費の削減を実施することにより効率性を向上させてまいります。

これらの構造改革は、今後詳細を検討し、経営健全化計画に織り込んで別途公表いたしますが、年間200億円を上回るコスト削減効果を目指してまいりたいと考えております。

また、構造改革に、全役職員が一丸となって取り組むための体制整備として、各部門の担当役員により構成する「構造改革推進委員会」を設置いたします。

以上

 Copyright (c) 2002 The Asahi Bank, Ltd.
All Rights Reserved.

[ホームへ戻る](#) >>> [ページトップへ](#) >>>